

[ポリエ]とは、石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことです。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいに建っています。

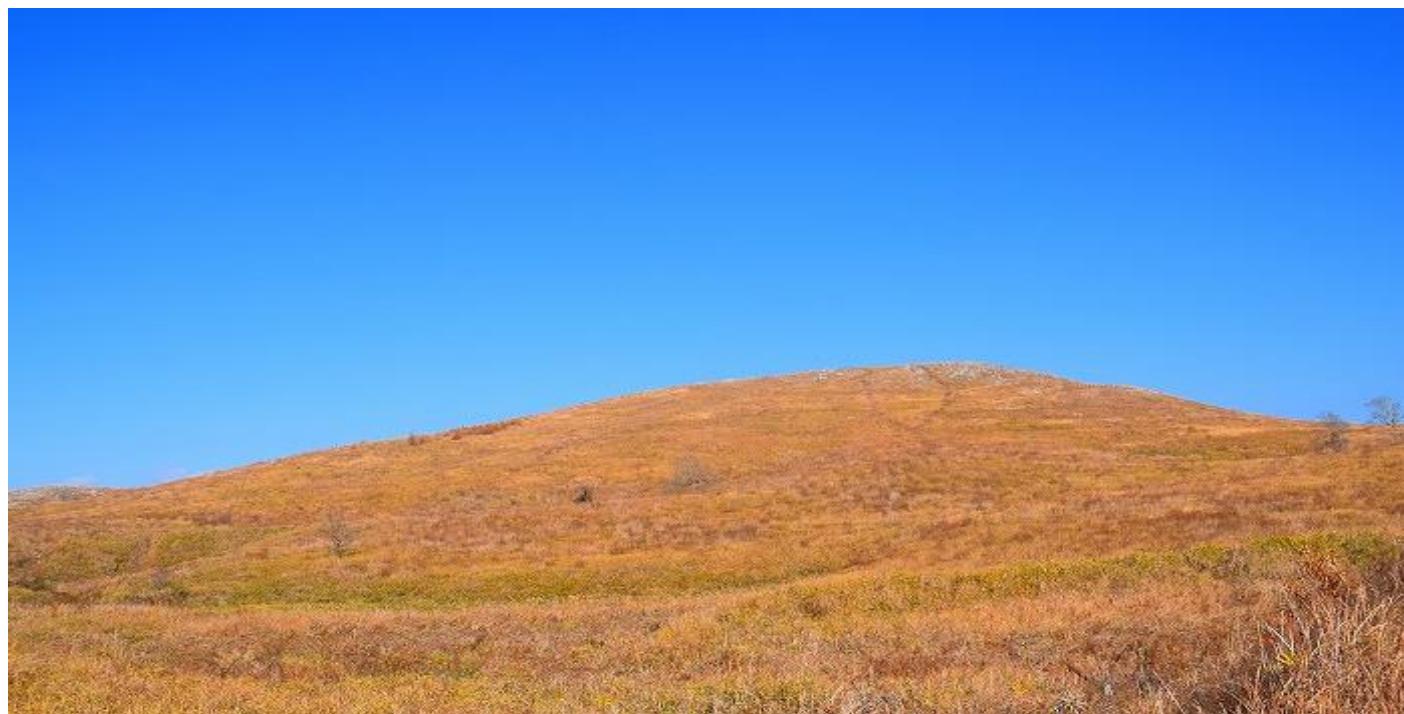
2025年12月号 №.294

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX: 08396-2-2622
E-mail : akiyosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP : <http://www.c-able.ne.jp/mitou-14/>

秋吉台 去年よりも2週間早い初雪にビックリ!?

今年もそろそろあとわずかで終りですが、季節が変わらるわけではないので、秋吉台はあまり変化はありません。12月3日に雪が降ったものの積もりませんでした。草原の風景。チガヤもススキも草はほとんど枯れてしまい、ササの葉がわずかに薄い緑色を残すだけです。よく晴れた日、遊歩道を散策しているとヤマジノギクが咲き残っていました。枯れ草に混じって淡いピンク色がことに鮮やかに見えます。秋吉台の花も今年はこれが見納めでしょう。

(写真は12月18日の北山のようす)



季節の花 いつでも どこでも 見かけるような…

ノボロギク 日当たりの良い荒地や畠など、どこにでも生えるキク科の植物。花はいつとなく、一年を通して咲いています。草丈は畠など肥沃なところでは30cm以上と大きくなり、そうでないところでは10cmほどでも開花します。

ホトケノザ 日当たりの良いところに生えるシソ科の越年草。畠や庭はもちろん、道端など場所を選ばずに生えています。花壇や庭などでは、抜いても抜いても、次から次へと生えてきて厄介ですが、花は小さくて可愛いです。

セイヨウタンポポ 日当たりの良い草地や道路沿いなどに生えるキク科の多年草。タンポポといえば春を代表する花と思われますが、気を付けて見ると、いつでも、どこにでも咲いています。タンポポは種類が多くあります。写真撮影した日に見かけたのはセイヨウタンポポだけでした。



「クリスマスリース作り」(12月14日)

クリスマスリース作りを行いました。飾り付ける主な材料はサルトリイバラやマツボックリやドングリ、ノグルミなどの木の実です。土台となるリングはアケビやフジのツルを巻いて作成しました。そのリングに材料を細い針金やグルーガンで、完成をイメージしながら飾り付けていきます。思い思いの発想で仕上がりも多様です。サルトリイバラの赤い実だけを使って仕上げた作品は、赤いサンゴで作ったようでした。完成した作品の前でみんなで記念撮影しました。



柿の実豊作？ カラスがいない？ なぜ？

今年は柿の実がたくさん付いているのをよく見ます。渋柿でもこの時期には熟して甘くなります。それを求めてカラスが群れをなして集まって来るのですが、それを見かけません。人目の付かない山にも柿やその他の餌となるものがたくさんあるので、わざわざ人里へ飛んで来なくても食料に事欠かないのでしょうか。豊作なのは柿の実だけではありません。この付近ではドングリや草の実なども豊富なようです。



門松たてて お正月の準備！

新年を迎えるため大正洞へ向かうアーチの前に門松をたてました。地元の知り合いの方から竹をもらつて切り出しました。竹を切り倒すのは大変でした。飾り付ける松、竹、梅の枝や南天も地元の方から分けていただきました。土台となるのはドラム缶を横半分に切ったもので、その中央に3本の竹を立ててその周りに石を詰めてしっかりと固定しました。今年は去年より40cmほど低めの180cmの高さにしました。材料がたくさん集まつたので出来栄えは良好です。



1月の行事

1月17日(土) 「冬の昆虫教室・1(クワガタムシ)」

1月25日(日) 「冬の昆虫教室・2(カブトムシ)」



森の昆虫教室(両日とも)往復ハガキでのお申込みとなります。詳しくは当ホームページでご確認ください。

1月11日(日) 予定の「サンショウウオの観察」は現地の環境変化のため中止いたします。